

自然が 自然のままに あいるまちが



ニュータウンは春日井市の自然豊かな東部丘陵地帯の一部を開発して造られたまちです。元々の地形をできる限り活かした計画は、まちの中に山や川や池を残しました。まわりには、「都市緑化植物園」や「少年自然の家」といった自然に親しむための施設が隣接し、弥勒山、道樹山など市民の財産である豊かな自然が広がっています。人々はそれらの自然や施設を大切にし、自然豊かな暮らしを楽しんでいます。

■高森山

1972年からの数回にわたるドングリ作戦が裸の高森山に緑を復活させた話は有名です。多くの住民の取組の成果は、今も人々に引き継がれ、間伐等がされています。おかげでウグイスやギョフチョウ、ニホンリスなども住む雑木林となり、散策路では自然とのふれあいが楽しめます。(↓P15高森山ぐるっと一周軽登山コース参照) 周辺の森と高森山を緑道でつなぐ新しい取組も始まりました。(↓P14リスの道)



春・秋・冬と年3回行われる自然観察会。草木や季節によって異なる野鳥など、自然の変わり方を学びます。(高座小学校/協力:環境学習ネットワーク)

■新池公園

新池と洞口池の2つの池を合わせて新池公園と呼びます。この池は明治の頃、濃尾地震によって身洗川の堤防が決壊し、この一帯が大洪水に遭い、村の人たちが人力で補修工事をしたと言われる貯水池です。今は木立の中に静かな湖面をたたく春の桜、秋の紅葉など絶景スポットになっています。幹線道路から少し離れただけで、別天地を思わせる静寂さと美しさはいやしの時間を味わえます。池を周回する散歩コースがおすすめです。

ドングリ作戦で自然林復元
—高森山「ドングリ作戦」発祥の地—

高森山は昭和40年の山火事で中腹以上が半裸地や低木林になった。高蔵寺ニュータウンの建設が進むなかで、唯一残された「高森山」を自然林に復元しようとする地域運動が起こり、100年かけて自然林を復元しようと行政とニュータウン住民が力をあわせて「ドングリ作戦」を実行した。(看板より転載)

■都市緑化植物園

(通称グリーンピア春日井)

園内には四季折々の花と木々が整備され、ゆつくり散策が楽しめる施設です。ボランティア団体「パセリクラブ」の人たちによる、最新のアイデアあるガーデニングが見所です。「緑と花の休憩所」では季節を先取りした花の植え替えやコンサート、「緑の相談所」では植物に関する展示や講習の他、写真や絵画の展示も行われています。

■少年自然の家

築水の森に囲まれ、ハイキング、アスレチック、バードウォッチング、星の観察など自然体験ができる宿泊施設です。市内の小中学校の野外学習の場として活用されていますが、誰でも利用でき、ボランティアの自然観察指導員や「みろく会」の若者たちが、キャンプのサポートを務めるなど自然体験をさらに楽しく親しめるように支えてくれています。



カナル(上段) 緑と花の休憩所(下段右) 緑の相談所(下段左)



少年自然の家(上段右) 築水池(上段左) みろく会(下段)

■水辺公園・愛知用水



牧尾ダムから知多半島にのびる愛知用水がニュータウンを貫通しています。ほとんどが地下を通っているため、目にするのがあまりないのですが、地上に出ている部分一帯を水辺公園と言います。公園内には47都道府県の木が植えられていたり、メダカの保護池があったりと自然と触れ合える場所となっています。また、愛知用水はニュータウンの水を供給しています。

■新繁田川・身洗川

新繁田川は井戸坂公園から白山橋を通って庄内川にまっすぐ流れ込みます。昔、井戸坂公園は池でした。そこを流した川は白山橋を過ぎた辺りから、西に大きく蛇行して現在の繁田川(気噴+大留)につながっていました。それが2つの川に分離されて、井戸坂公園から庄内川へと流れる川を新繁田川と呼ぶことになりました。

まち中を川が流れる風景は落ち着いたまち並みを作り、知る人ぞ知る桜の名所でもあります。

高座台5丁目に突然のようにして現れ、道路に沿って新池公園の洞口池に真っ直ぐ流れ込むのは身洗川です。こちらもまた、桜が見事です。コサギやセグロセキレイ、ときにはカワセミなどの水鳥が小さな魚や虫をねらっています。

ニュータウンに寄せた

自然観察指導員
春日井市自然環境保全活動推進員
太田省三

ニュータウンに住んだ最初は高森台(1976年)でした。高森山は緑で覆われており、それが以前は裸だったと知ったのはずっと後でした。2年で岩成台に転居、二人の子を育てました。今は夫婦だけの暮らしです。どちらも福岡出身ですが、ここを終(つい)の棲家(すみか)と決めています。最大の理由は環境。住宅地内はもちろんのこと、外周道路を1本隔てただけで豊かな自然があり、すっかりとりにこになりました。その自然環境の保全をライフワークに選んだほどです。もう一つは治安の良さ。市民・関係機関の協働で街頭犯罪が大幅に減ってきました。そうした諸々の活動から多くの友人もでき、ここに住んでよかったと思っています。

オススメ散策コース

オススメコースです。少し足をのばせば、本格的な東海自然歩道も近い。ウォーキングのシューズを履いてさあ出かけよう！

歴史と里山探訪コース

築水池のほとりを通って郷土の歴史を調べながら築水の森をウォーキング

所用時間 約2時間



野鳥図鑑

ニュータウンやその周辺でよく見かける野鳥。庭先までやってくる野鳥もいます。

写真：小林拓哉、太田省三



●セグロセキレイ ●シジュウカラ ●ホオジロ ●ムクドリ ●カケス ●ヒヨドリ

●留鳥：移動をしない鳥
●漂鳥：夏は山地、冬は平地と季節によって小移動する鳥
●冬鳥：渡り鳥で冬に見かける鳥

●コゲラ ●メジロ ●カルガモ ●ジョウビタキ ●ウグイス

リスの道



メダカ池へ「自然探検」に来た岩成台小学校の子どもたち。トンボの幼虫ヤゴも多数生息。季節にはハンゲシヨウやスイレンが池を彩ります。

メダカ池 国の絶滅危惧種のメダカがニュータウンの真ん中に。水辺公園(岩成台)の隅の池に平成5年ごろ、地元の篠田欽也さんが放流して、10年ほど世話をしてきました。そのあと鈴木郁夫さん、太田省三さんらに引き継がれています。近くの園児がメダカを見に来たり、小学児童が自然学習に來たりします。地域の人人には散策の隠れたスポットです。「こんな所もあったのか!」の声も時々聞かれます。

野鳥と野草



リスは松ぼっくりが大好き。まわりをかじって中の種を食べます。そうするとエビフライのできあがりです。

丘陵地を開発して造られたニュータウンには、たくさんの自然が残されています。ちょっと目を周りにやると、そこには小さな花をつけた野草が咲いています。ちょっと耳を澄ましてみると、どこからか「ピーヨ、ピーヨ」と鳴き声が聞こえます。ヒヨドリの名前は、この鳴き声からついたそうです。ニュータウンでよく見かける自然を集めてみました。

野草図鑑

ニュータウンの緑地や公園でよく見る野草。 ●在来種 ●外来種 [外来種が多くなってきました。]



団地縦断散歩コース

所用時間 約2時間

アビタから水辺公園、新池公園を一周してアビタに戻るコース。水辺公園のメダカ池、景勝地としての新池公園、春日井三山を見てみよう。



新池公園

画：豊田育